



みどり丸遭難犠牲者追悼法要

去る令和5年8月17日、桃原町長、中村副町長、宇江城教育長は、みどり丸遭難犠牲者の追悼法要に参列しました。みどり丸沈没事故は、昭和38年8月17日に乗員・乗客約240名を乗せた定期貨客船が、那覇市西方のナガンヌ島（チービシ）沖で突風と高波を受けて沈没し、死者86名、行方不明者26名が被害に遭われた沖縄の海難史上最大の事故です。悲しい事故を忘れないよう、毎年8月17日には浄土真宗本願寺派沖縄別院主催のもと、みどり丸犠牲者慰霊碑にて追悼法要が行われています。

日本・ハワイ姉妹サミット及び姉妹島訪問

令和5年7月27、28日の2日間、「絆」をテーマに日本・ハワイ姉妹サミットがハワイオアフ島にて開催されました。ハワイ州知事、ホノルル市郡長、カウアイ島・マウイ島市長、日本の6県16市町の知事、市・町長、代表者が参加し、「持続可能なエネルギー」「グローバル人材育成」「持続可能な観光」「ビジネスと経済(国境を越える貿易)」「持続可能な農業」について討論が行われ、桃原町長は本町のエネルギー政策について発表し、持続可能な観光についてグループ討論を行いました。

姉妹サミット終了後には、地元の日本語ラジオ(KZOO Radio(ケイズーラジオ))に飛び入り参加し、久米島町のPRをさせて頂きました。

29日には姉妹島であるハワイ島へ訪問し、ハワイ郡長とこれまでの交流を振り返ると共に、これからの交流について意見交換を行いました。

また、高校生交流があるコナワエナ高校への訪問も行い、コロナ禍で学生の行き来が止まっていた交流の今後についても意見交換を行いました。

